

「eラーニングシステム構築及び維持管理業務委託」一般競争入札に係る質問に対する回答

令和8年6月19日回答

番号	質問	回答
1	<p>仕様書2.2 資格要件(3)について、今回、Moodle移行の認識ですが(3)の開発実績及び導入実績が必要な理由をご教示ください。また、「当該システムはxAPI形式のデータ取り込みに対応し、学習記録ストア(LRS)および学習分析(LA)の両機能を備えるものであること」とありますが具体的にどのような機能を実装するか仕様書に記載がないため詳細をご教示ください。</p>	<p>今回の調達範囲はMoodleサーバの更新およびxAPI形式によるデータ出力基盤の整備です。将来、Moodleと連携する学習分析システム(xAPI/LRS/LA機能を備えるもの)の導入を予定していることから、学習分析システムとの円滑な連携を見据え、請負者に同種システムの開発・導入実績を求めることで、技術的な連携可能性と品質を確保する趣旨です。</p> <p>仕様書2.2 資格要件(3)は、請負者または協力会社が有するべき入札資格要件に記載したものであり、今回構築するシステムの機能仕様を定めたものではありません。</p> <p>「xAPI形式のデータ取り込みに対応し、学習記録ストア(LRS)および学習分析(LA)の両機能を備えるものであること」とは、応札者が過去に開発・導入した実績として有するべき当該学習分析システムが満たすべき条件を指しており、これ以上の機能詳細(画面仕様、分析項目等)は本資格要件には含まれません。</p> <p>なお、今回の調達範囲はMoodleサーバの更新およびxAPI形式によるデータ出力基盤の整備であり、LRS・LA機能を備えた学習分析システムそのものの構築は本調達の対象外です。</p>
2	<p>仕様書3.10 動作検証等について、「1. 本調達システムの稼働試験を実施すること。(1) 同時接続数500人を上限とした稼働試験を実施すること。」とありますが、上記検証を実施するにあたりハードウェアスペックは「仕様書3.6 導入作業 8. ハードウェアについて」の仕様内容を満たしていれば問題ないでしょうか。</p>	<p>3.10(1)に定める稼働試験は、同時接続500人という負荷条件下でシステムが正常に稼働すること(停止・エラー等が発生しないこと)を確認するためのものであり、500人同時接続時に軽微な応答速度の低下が生じた場合でも、システムが安定して稼働していれば試験要件を満たすものとします。完全な快適性(一定の応答速度の保証等)までを求めるものではありません。</p> <p>したがって、3.6-8に記載のハードウェアスペックを満たしていれば、本試験における要求水準を満たすものと判断します。</p>